

新たな交流・連携への支援策について

1 NPO法人紹介ハンドブックの作成・活用について

(1) 目的

NPO法人の活動状況や事業実績などの情報をわかりやすくまとめ、周知することで、NPOや企業、学校などの関心を高め、新たな交流や連携のきっかけづくりに活用されることを目的とする。

(2) 配布先

市内 NPO 法人、市民活動団体（協働センター情報メンバー等）
コミュニティセンター、社会福祉協議会、学校、商工会（組合、事業者等）
県内他市 NPO 担当課、中間支援組織

(3) 活用例

ハンドブックを見て NPO の活動を知り、関心が生まれる

(ex) 子育て支援を行う NPO 法人どうして情報交換がしたい
CSR として地域 NPO と連携した環境保全事業を企画したい
学校の地域連携事業として「まちづくり」に取り組んでみたい

市民協働センターのコーディネート機能を活用

市民協働センターを通して目的にあった NPO 法人を紹介
「多様な主体による協働の場づくり、きっかけづくり」

例えば… 商工会などにハンドブックを配布する際、会員向けのチラシ等で協働センターの相談窓口を積極的に PR する

2 NPO法人情報交換会の開催について

(1) 目的

様々な分野で活躍する NPO 法人どうしが、お互いの活動状況や課題について情報共有し、今後の運営に役立てるための、交流の場づくりを行う。

(2) 直近の取組み

平成 29 年 1 月 11 日（水）「長岡市 NPO 法人情報交換会」開催
(併せて「NPO 法改正に関する説明会」を実施)

内容 ・ NPO 法の改正について
・ 長岡市の市民協働推進施策について
・ NPO 法人による取組み事例紹介
・ 情報交換ワークショップ（現在の課題など自由に意見交換）

参加 32 法人（39 名）：市内 NPO 法人の約半数

(3) 今後

引き続き NPO 法人向けに、実務講習会や会計講座などニーズに沿ったタイムリーなテーマと併せて情報交換会を開催し、交流の場づくりを行っていく。
さらに、必要に応じ事業者など幅広い主体との交流も積極的に図っていく。